

こうや 清 県政レポート

かながわ民進党県議団保土ヶ谷区版

かながわ民進党県議団

横浜市保土ヶ谷区版

(平成29年夏季号)

横浜市保土ヶ谷区西谷町 623

TEL 383-1290

FAX 383-1291

kohya.kiyoshi@gmail.com

www.kohya-kiyoshi.com

発行責任者： 高谷 憲

第2回定例県議会閉幕

5月11日から始まった平成29年度第2回定例県議会は去る7月6日、補正予算案、条例改正案など14議案を採択し閉幕しました。採択された補正予算は、中小企業の人材確保・育成の支援約1億3,300万円、これは従来の公的職業訓練の枠組みでは対応できない新たな人材育成等の取組みを実施するための予算です。

第3回定例県議会は、12月21日閉会の会期105日間で9月8日から始まります。

29年度新しい担当部署決まる！

高谷県議は厚生常任委員会に

特別委員会はオリンピック・パラリンピック特別委員会

29年度の団員の常任委員会、特別委員会の割り振りが決まりました。

高谷県議は、常任委員会は**厚生常任委員会**、特別委員会は東京オリンピックの準備をするため新たに設置されたオリンピック・パラリンピック特別委員会に配属されました。

“健康長寿”を審議するのが厚生常任委員会です。

高谷県議の一日は若さを維持をするためには絶対必要と、15分かけ、足腰頸の関節・筋肉をほぐすストレッチ体操を毎朝欠かさず行っていることです。元気な老人？にとっては打ってつけの委員会でこの1年頑張ります。

特別委員会も打ってつけの働き場所です。ご承知の通り2020東京オリンピックでは、藤沢市の江の島でヨットレース、横浜市で野球、ソフトが開催されます。広域自治体の神奈川県としても失敗は許されません。

議会も競技全体を大成功に導くために新たに特別委員会を設置し、本格的に準備に入りました。開催地の藤沢市、横浜市と一心同体となって全ての英知をこれらの競技の大成功のために結集しなければなりません。スポーツ大好き、高谷県議にとってこれ以上の議会での働き場所はありません。

各種団体・市町村から県への予算・政策要望のヒヤリングを実施

秋に知事へ団として要望書提出



28人の団員の総力を挙げて要望実現に頑張ります！

かながわ民進党県議団は、7月11日、12日、14日の3日間、中小企業団体、商工団体、障がい児家庭連絡協議会などの各種団体及び県下市町村から来年度予算並びに県政への政策要望を聴取するヒヤリングを行いました。

11日は連合神奈川。12日は3班に分かれてそれぞれ13団体、計39団体から県庁会議室で、14日は厚木班と小田原班の2班に分かれ、各行政センターを会場に計26団体・市町村から聴取しました。

聴取した各団体の要望事項は政務調査会を中心にこの夏合宿をして練り合い、かながわ民進党県議団として、「平成29年度予算・政策要望書」のとして取りまとめ、9月に黒岩知事に提出します。なお更に、本会議での代表・一般質問で取り上げるほか、各自所属の常任・特別委員会でも当局との質疑応答に使い、要望に沿えるよう団員一丸となって取り組ませていただきます。



暑さにめげず

頑張りましょう

平成二十九年 盛夏

高谷 清

暑中お見舞い申し上げます

高齢者医療費助成制度の創設に向けて高谷県議は頑張ります！

愛知県、京都府、大阪府で導入している高齢者医療助成制度、神奈川県ができない訳がない！同世代の代表を自任する高谷県議。ヒヤリングで聴取した保健医協会の皆さんに頑張ることを表明しました。

後期高齢者医療費・助成制度 必要額「試算」

神奈川県保健医協会

◆後期高齢者医療費「実績」〈H25〉

※一般・低所得者分

◇被保険者数	771,217人
◇医療費合計	6,729億円
【内訳】	
1) 診療費	5,065億円
2) 調剤費	1,378億円
3) 食事療養費	140億円
4) 訪問介護	18億円
5) 療養費等	128億円

※現役並み所得者分

◇被保険者数	101,612人
◇医療費合計	807億円
【内訳】	
1) 診療費	613億円
2) 調剤費	166億円
3) 食事療養費	13億円
4) 訪問介護	2億円
5) 療養費等	13億円

◆後期高齢者医療費「必要助成額」

※総額

一般・低所得者分 6,729億円×7.4% (1割負担者の実効税率) = 498億円

現役並み所得者分 807億円×19.2% (3割負担者の実効税率) = 155億円

合計 498億円+155億円=653億円

※外来分のみ

構成比率 入院：外来=48.8：53.2

外来分のみ助成 653億円×53.2%=347億円

◆神奈川県予算対比

・H27年度当初予算 1兆9,495億円

・助成必要額 対県予算比

助成総額 653億円÷1兆9,495億円=3.3%

外来助成のみ 347億円÷1兆9,495億円=1.8%

現在、今年中に横浜市から認証されるよう NPO法人、設立準備中

大工さん、左官屋さん、植木やさんなど現役を退いても腕には覚えのある昔取った杵柄が、庭木・雑草が生い茂って困った、雨戸が閉まらなくて困ったなどなど・・・。

住宅修繕・補修、庭木の手入れなどで困っている高齢者のみなさんが気軽に相談でき、格安（実費）でお手伝いをさせていただくNPO法人（特定非営利活動法人）を立ち上げ、今年度中に活動をするため、横浜市の認証を得るため準備をしています。



“地域と行政を結ぶホットライン”に徹し

歩み続けた、こうや清の30年（その6）

前号では、政界再編の風が吹き荒れていた平成6年、民社党の仲間から裏切り者の烙印を押されてもいずれ近いうちに一緒になれると確信し、一足早く民社党を離党し、小沢一郎・羽田孜両氏が立ち上げた新生党に入党したところまで書いてきました。

重複するかもしれませんが、自民党1党支配から脱却するためには、国家感・安全保障政策が根本から違う共産党的左翼政党は排除し、同時に世論に迎合する日和見も相容れない！という信念を堅持している私としては、当時細川護熙氏率い、各種地方選挙で躍進している日本新党を薦める人もいましたが見向きもしませんでした。

案の定、日本新党の勢いが下降気味となり、逆に小沢一郎は新生党への期待が高まり出すと、新生党を解党し、政権担当能力のある新党の設立を提唱、民社党へも参加を呼びかけたのです。こうして誕生したのが新進党です。

この現実を待ち望んでいた私は胸の高鳴りを抑えることが出来ませんでした。

結党パーティは横浜港大棧橋ホール、会場溢ればかりの参加者は照明が消され何事かとぞわめき立つその時、舞台裏カーテンが開き、青空に晴れ渡った前途に広がる横浜の海・・・。正に「前途洋々」そのものの演出を今もって脳裏に焼き付いています。平成7年4月、新進党公認での県議選の始まりです。（以下、次号）

こうや清後援会 秋のバスツアーは

まるで地下神殿！ 神秘の「大谷資料館」

絶景の「龍門の滝」鑑賞です！（栃木県）

◎とき 10月1日（日）

◎かいひ 8,500円

◎募集 45名



※詳細は追ってお知らせします。バス1台です。申し込みはお早めをお願いします。